

クロミウム鋼の冷却速度及び最高温度

シー、エー、エドワード氏、ヂェー、エヌ、グ

リオンウッド氏及吉川晴十氏

金屬内粒間セメント及びひ彈性極限に對する表面張力の影響  
エフ、シー、トンブソン氏

鐵及鋼の變出點(レカレッセンス)(Recalcescence)に對する實驗  
エー、マロツク氏

軟鋼の硬度試験に於ける實驗

ダブリユー、エヌ、トーマス氏

新式熱電氣法に依る金屬内同素體變化の研究

カール、ベネヂツク氏

同大會は更に引續き五月五日(金曜日)同様土木工學會樓上に於て開催せられサー、ウヰリアム、バードモリア氏會長の役を司れり、當日は「戦後商業界に於ける當英國鐵鋼協會の位置」なる重大問題に就て慎重熟議する所ありたり。猶當日發表せられたる論文左の如し(前日の引續き)

工具鋼の截斷能率とブリネル式或はスクレロスコープ硬度との關係に就て  
ヂェー、オー、アルノルド氏

クロミウム鋼の冷却速度及び最高温度に就て

シー、エー、エドワード氏、ヂェー、エヌ、グリ

リオンウッド氏及び吉川晴十氏

### ●理研研究事項

理化學研究所設立は愈具體的に進捗し發起人會を開く迄に運ひたるか同所か今後主として研

究すべき問題は差當り左の諸事項なり。

(一)電氣及電氣化學に關する研究(二)照光工業に關する研究(三)理化學機械中精密なる器械、標準計測器及光學用并熱學用硝子に關する研究(四)醫藥、染料、香料、護謨等の化學的合成に關する研究(五)食料、飲料等に關する研究(六)冷凍業に關する研究(七)油類に關する研究(八)空氣中窒素の固定に關する研究(九)鐵煙除去に關する研究(十)炭坑内瓦斯爆發豫防に關する研究(十一)鐵鋼、特殊鋼等の如き金屬熱、壓力、張力等に依る組織の變化に關する顯微鏡的研究(十二)内燃タービンに關する研究(十四)兵器及爆藥に關する研究(十五)耐火震構造に關する研究

前記の如く研究事項は極めて廣汎なるも是等の事項につきては同時に之か研究に着手するに非ず事項の輕重緩急に應じ經費の許す範圍に於て研究の順序を定め専ら學理の方面より根本的研究を爲すへしと云ふ。

### ●理研設立發起人會

大隈首相の挨拶、創立委員の推選、資本金額八百萬圓を以て本年度内に財團法人としての理化學研究所を設置せん計畫の下に既に去る三十七議會に於て二百萬圓の國庫補助を議決し結局五百萬圓だけを民間有志寄附に仰くべき事を定め過般來準備委員長たる澁澤男爵の手許に於て設立準備中なりしか略々其の準備を終へたるを以て三日正午より永田町なる首相官邸に於て全國發起人を會し設立準備に關する報告を兼ね將來採るべき方針に就き協議を凝らしたるか當日は大隈首相を始め河野農相其他上山、菅原兩次官、高橋法制局長官並に江木書記官長等列席主唱者側よりは澁澤男、中野武營、井上準之助、櫻井錠三、團琢磨、高松豊吉、大倉喜八郎、近藤廉平、安田

善三郎の諸氏外に三島彌太郎、郷誠之助、服部金太郎、大橋新太郎、藤山雷太、高田慎藏、志村源太郎、志立鐵太郎（東京）土居通夫（大阪）濱田元哲、田中源太郎（京都）瀧川儀作（神戸）原富太郎、茂木惣兵衛（横濱）の諸氏出席午餐を共にしたる後會議に入り先づ大隈首相より

研究所設置に關する從來の經過に就て報告し政府は既に補助金交付に關する法律案を制定し殘る處は民間の寄附金募集の一段のみとなれり而して固より研究所設立の必要は茲に呶々を要せざる所なれば速に賛助を得たし

との意味の挨拶あり次いで澁澤男より從來の準備經過に就き詳細報告する所あり河野農相は更に痛切なる希望を述べたる後

今日世界の競争は産業軍事其他科學の競争にして所詮は發明の競争に存するか故に理化學研究所の設立は朝野の輿論なりといふを憚らす願くは一日も速に賛助あらんことを望む

との挨拶を爲し豫て準備委員長に於て作製せる「理化學研究所設立協賛規定」並に其他の豫算書類等を配付したる後澁澤男は再び起ちて

今日既に實行に入り如何にして民間寄附金を募集すへきや則ち其方法如何の問題を決するを以て最も喫緊の事なりと信す過般十二名の委員は政府に建議案を提出して政府より二百萬圓の補助を仰ぎ全部の殘額五百萬圓の寄附

を募集することなれば既に諸君の承認せる所ならんと信す予は此際左記各項に就き諸君の承認を得たる上着々實行の運びに至らんことを望まざるを得ず  
とて左記事項を附議したるに何れも異議なく之れを承認し午後三時二十分散會せり。

#### ▲決議事項

- 一、本日集會の各委員を發起人となすこと並に本日招待せる者は發起人たるの承認を求むること。
- 二、將來地方の事情により更に發起人を増す場合あるへし。
- 三、現在の創立準備委員に於て更に少數の創立委員を推選し民間有志の寄附行爲に關する運動を爲すこと。

#### ●帝國學士院授賞式

帝國學士院に於て本月二日午前十時より恩賜賞及帝國學士院賞の授賞式を舉行せり、其次第左の如し。

院長の演説、會員文學博士芳賀矢一同文學博士井上哲次郎同醫學博士緒方正規同理學博士長岡半太郎同理學博士田中館愛橋の各授賞理由の説明あり、次で院長より左の通恩賜賞及帝國學士院賞を順次各受賞者に授與し内閣總理大臣の演説、宮内大臣及文部大臣の祝辭ありて午後零時三十分式を終れり。

一、恩賜賞 假名に關する研究

一、同 周公と其時代

一、同 黃疸出血性「スヒロヘーテ」病に關する研究

一、帝國學士院賞與無線電信電話に使用する電氣振動間隙に關する研究

大 矢 透

文學博士 林 泰 輔

醫學博士 稻 田 龍 吉

工學博士 井 戸 泰

鳥 湯 右 一  
島 井 恒 太 郎  
横 山 英 太 郎  
北 村 政 次 郎

七四九